

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 —

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2026年3月

販売元 日本ジェネリック株式会社  
製造販売元 長生堂製薬株式会社

睡眠導入剤  
トリアゾラム錠  
トリアゾラム錠0.125mg「CH」  
トリアゾラム錠0.25mg「CH」  
Triazolam Tablets

この度、標記製品につきまして「使用上の注意」を改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。  
つきましては、今後は下記内容に充分ご留意くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 改訂内容

- 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和8年3月17日付）に基づき、次のとおり改訂いたしました。
- ・「禁忌」、「併用禁忌」の項に「セリチニブ（ジカディア）」を追記いたしました。

<改訂理由>

PMDAにてセリチニブとCYP3A基質薬剤の併用時における薬物動態学的な影響が評価され、専門委員の意見も聴取した結果、セリチニブの強いCYP3A阻害作用によりCYP3A基質薬剤の曝露量が増加し、副作用の発現が増強するおそれがあることから、使用上の注意を改訂することが適切と判断されました。

- 次のとおり、自主改訂いたしました。

- ・上記通知による改訂に伴い、「併用注意」の項より「セリチニブ」を削除いたしました。

※改訂箇所は裏面をご確認ください。

今回の改訂内容は、医薬品安全対策情報（DSU）No.344（2026年4月発行予定）に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- ・日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
- ・医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)
- ・「添文ナビ®」にて個装箱等に表示のGS1バーコードを読み取る。  
「添文ナビ®」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。  
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社  
安全管理部 TEL：03-6684-2467

トリアゾラム錠 0.125mg/0.25mg「CH」



(01)14987792168718

J20250044

2. 改訂箇所（新旧比較）

部：改訂箇所、部：削除箇所

改訂後	改訂前												
<p><b>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</b>  <b>2.4</b> 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシタット含有製剤、エファビレンツ、<u>セリチニブ</u> [10.1 参照]</p>	<p><b>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</b>  <b>2.4</b> 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシタット含有製剤、エファビレンツ [10.1 参照]</p>												
<p><b>10. 相互作用</b>            本剤は主として薬物代謝酵素 CYP3A4 で代謝される。  <b>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セリチニブ (ジカディア) [2.4 参照]</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</td> <td>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ (CYP3A4) であるため、本剤の代謝が阻害される。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	セリチニブ (ジカディア) [2.4 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ (CYP3A4) であるため、本剤の代謝が阻害される。	<p><b>10. 相互作用</b>            本剤は主として薬物代謝酵素 CYP3A4 で代謝される。  <b>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</b>            ←追記</p>						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
セリチニブ (ジカディア) [2.4 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ (CYP3A4) であるため、本剤の代謝が阻害される。											
<p><b>10.2 併用注意（併用に注意すること）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">&lt;該当項目削除&gt;</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<該当項目削除>			<p><b>10.2 併用注意（併用に注意すること）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セリチニブ</td> <td>治療上の有益性が危険性を上回る場合を除き、セリチニブとの併用は避け、代替の治療薬への変更を考慮すること。</td> <td>セリチニブが代謝酵素 (CYP3A4) を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	セリチニブ	治療上の有益性が危険性を上回る場合を除き、セリチニブとの併用は避け、代替の治療薬への変更を考慮すること。	セリチニブが代謝酵素 (CYP3A4) を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
<該当項目削除>													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
セリチニブ	治療上の有益性が危険性を上回る場合を除き、セリチニブとの併用は避け、代替の治療薬への変更を考慮すること。	セリチニブが代謝酵素 (CYP3A4) を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される。											